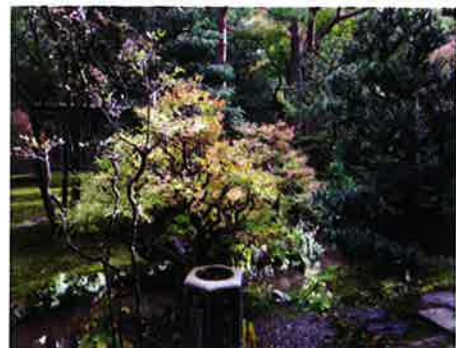




# あれこれ



2015年 第3号  
担当：長井支部



## 第58回建築士会全国大会「石川大会」(H27. 10. 30)

山形支部女性委員2名は、天童支部に参加させていただきました。

10月30日、音楽堂での大会に参加し、ひがし茶屋街のお茶屋文化も楽しみました。

2日目は、金沢城・兼六園・鈴木大拙館・21世紀美術館・武家屋敷野村家など金沢市内を見学しました。中でも印象に残ったのは、兼六園内にある成巽閣です。ここは、13代藩主前田育泰が母の為に建造した奥方御殿で、1階は武家書院造り、2階は数寄屋風書院造りになっており、部屋ごとに異なる天井様式や色壁や花鳥の絵など女性好みに造られ優美なものばかりでした。普段は立入り禁止の茶室(清香書院と清香軒)も拝観することができました。躰口は大きく、室内に土間の庭があり、木戸と敷居を外すと外と一体となるように工夫されています。母を想いやる工夫がふんだんに見られ、素晴らしい文化財でした。昼食は、近江市場で舌鼓を打ち、七尾市の和倉温泉へと向かいました。ここからは、『七尾へ沿線建築探訪』と称し、初めに「海みらい図書館」に立ち寄りしました。外壁の大小のOがきれいに斜めに並んでいます。

1枚のパネルに18ヶのOが開けられ、それが520枚外壁として張られています。1枚として同じ穴のパネルは無いと聞き驚きました。次は、内井昭蔵氏設計の「からくり記念館」で、実演の茶運び人形に皆で大爆笑しました。探訪の最後は、安藤忠雄氏設計の「西田幾多郎記念哲学館」です。内部は迷路のように入り組み、迷い、考えて行先を自ら考える哲学の館なのですが、瞑想の空間では「宝くじ当選！」の音が聞こえたり、迷路では「WCどこですか？」の音が…。哲学とは程遠い仲間に笑い声があふれていました。そして、和倉温泉に到着し、温泉と能登の食材を堪能し、夜はほろ酔い気分で、日本一の宿『加賀屋』までムーンライト・ウォークと洒落こみました。



3日目は辻口博啓氏の『ル・ミュゼ・ドゥ・アッシュ』で『まれ』を思わせるケーキをいただき、その美味しさに女性群は「しあわせ〜♡」と感激していました。その後「能登食祭市場」で新鮮なお土産をたくさん買い求め帰路につきました。

天童支部の皆様のお蔭で、終始笑いの絶えない楽しい充実した3日間でした。歴史をつなぐ建築を目に焼き付けた石川大会は、私の大切な思い出となりました。

(山形支部：齋藤尚子)



## 秋季研修会 (H27. 11. 21) ~プレゼンテーションの極意~



今年度の秋季研修会は建築士会会員でもある、東北芸術工科大学准教授の早野先生を講師に迎え『プレゼンテーションの極意~トッププレゼンター直伝の技を伝えるワークショップ~』について学ばせていただきました。

各支部から10名の参加者は、事前に出題された「最近感動したこと」を川柳や短歌にして持ち寄り、自己紹介を兼ね発表するというプレゼンを体験することからスタートしました。伝えることの難しさを実感した私たちは、真剣に講義を聞き入っていました。途中、グループに分かれてのワークショップを交えて、最後には豪華？昼食を賭けたプレゼンテーション対決。終始、頭をフル回転させながら、あっという間に講義は終了。おかげで、プレゼンテーション能力がアップしたような気がします。

(山形支部 原田江美子)

## 第28回(一社)山形県建築士会青年大会 (H27. 11. 21)

12年ぶりに長井支部での青年大会。当支部に属していながらも“出来るのか??”という文字が真っ先に頭に浮かんでしまいましたが、小林支部青年委員長を中心に何度も会議を重ね、とても充実した青年大会を開催していただきました。

まずはフラワー長井線の方言列車に貸切りで乗車し、昨年オープンの南陽市文化会館へ。構造見学会の時にも見学していましたが、完成した会館は本当に木造の大空間を実現されていました。入口から入ると前市長が東京駅の丸の内口を参考にしたという、南陽8地区から成る八角形のホールが象徴的です。個人的には木を小さいうちから知ってもらい、触れてもらうようにと作られた「木育ひろば」が気に入りました。またバックステージの神棚には山下達郎さんから奉納された品が!!いつか来ていただけることもあるのでしょうか・・・



メイン会場のタスパークホテルに戻ってからは、今注目の若手建築士、アーキテクチュアランドスケープ級建築士事務所代表渋谷達郎氏による講演「木と森/風景を生かす建築」が行なわれました。タイバックを仕上材として使う・・・斬新過ぎて考えた事すら無い発想です(汗)懇親会ではクラシックや建築クイズで盛り上がり大盛會に終わることができました。準備から当日の運営まで長井支部青年部の皆さんお疲れ様でした!!!

翌日、渋谷さんの設計された「西根の家」のオープンハウスがあると聞きし宿泊先から直行。施主様の山の木で建てられたという理想的な家で、興味津々の“仕上材のタイバック”は和紙のような風合いでとっても素敵な空間でした♪



(長井支部 守屋由美)

